



令和 6 年 8 月、豊地区社会福祉協議会では、豊小学校 4 年生（4 名）を「子ども福祉委員」に任命しました。豊地区では初の試みで、子ども福祉委員は、夏休みや休日に、地区の敬老会や自治会型デイホーム、福祉まつりに参加し、地区の高齢者の皆さんと楽しく交流しました。

メンバーからは、「敬老会は緊張したけど楽しかった」「自治会型デイホームで、高齢者の方とゲームをして遊んで楽しかった。また遊びたい」といった感想がありました。

豊地区社会福祉協議会の山田耕一会長は、「子ども福祉委員の活動が私たちにも良い刺激になっている。これからも、豊地区の皆さんがしあわせに暮らしていける地域になるように、子ども福祉委員とともに一緒に楽しく活動していきます。」と話されました。



▲任命状を受け取るメンバーたち



▲福祉まつりでの活動の様子

来場者に「お元気で暮らしてください」と声をかけながらおはぎを配りました

子ども福祉委員とは

学校での福祉学習を踏まえて、こどもたちが実際に地域に出向いて取り組む福祉の実践活動。こどもたちが地域の見守り活動にかかわることを通して、地域福祉活動の普及啓発と福祉への理解促進につなげている。

厚生労働大臣表彰の受賞 おめでとうございます

令和 6 年 1 1 月、東京で行われた「令和 6 年度全国社会福祉大会」で、「要約筆記サークルフレンズ」が厚生労働大臣表彰を受賞し、長年のボランティア活動の功績を称えられました。

要約筆記サークル フレンズ (鍋屋 祥代 代表)

講演会などで要約筆記活動を行っているほか、定例会を月 2 回開催し、サークルメンバーで要約などの技術向上を図っています。

コメント

平成 22 年に立ち上げた要約筆記サークル フレンズ。要約筆記とは、聴覚障がい者の方に対する情報支援の方法の一つで、話の内容をその場で要約し、文字にして伝えるものです。手で書く「手書き」と「パソコン」を使用する方法があります。AI などの技術の進歩も期待されますが、人が寄り添う部分を大切に活動しています。



グループの皆さま、この度の受賞おめでとうございます。

市社協ボランティアセンターは、これからもグループ活動を応援しています。

ボランティアセンターからのお知らせ

本号をもちまして、ボランティア情報は発行を終了します。長きにわたりご支援・ご愛読いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。今後は本会の広報紙「社協だより まごころ」や、ホームページ、Facebook にて情報をお届けします。



▲ホームページ



▲Facebook